「第７回　新潟県渋滞対策協議会」の会議結果概要

１．開催日時

平成28年7月26日（火）　10:00～11:30

２．開催場所

国土交通省　新潟国道事務所　Ｂ棟会議室

３．議事内容

①これまでの取り組みと振り返り
②地区ＷＧにおける取り組み状況
③交通状況のモニタリング
④今後の取り組み方針

４．議事要旨

（１）「地区ＷＧにおける取り組み状況」について

１）イベント時の交通対策のあり方

・イベント時の交通対策は、主催者、道路管理者、警察の３者が連携して取り組むことに加え、道路利用者への情報提供も含めた「情報共有」＋「情報提供（展開)」の視点で取り組むことが必要。
・イベント時の交通対策について、道路管理者や渋滞対策協議会の位置づけを明確にするための取り組みが必要。

２）イベント情報の収集方法の検討

・官公庁が実施するイベント等は関係機関や事業者等に情報発信されるが、民間が実施するイベント等の情報は、主催者側から発信されないため、今後に向けてはそれらの情報をいかに得るかの検討が必要。

３）交通状況などの分析

・三条市の新規工業団地造成計画に伴い、国道8号において通勤や物流による交通量の増加が見込まれるため、交通量の増加を踏まえた対応策の検討を実施予定。
・三条市と協力し、地域の企業や工場などの就業時間や就業者数と速度状況の関係について分析を検討。
・長岡東バイパス沿線に移転開院する立川綜合病院の影響等について交通状況を分析予定。

（２）「交通状況のモニタリング」について

・道路整備が進展している中で、全体の旅行速度が横ばいから若干ではあるが低下する傾向にある。今後は、その要因を継続的に分析していく必要がある。

（３）その他

・H28年1月の大雪の際に、中越地域で2日間にわたって国道の交通が停滞した。除雪はもとより適切な情報提供の取組が必要。

以　　上